

## 長久手市中央図書館事業報告（12月）

## おはなし会

事業名	日時	参加人数
大人のおはなし会〔読書会〕(吾亦紅)	12/5(火)	23人
ブックスタートおはなし会(図書館ボランティア協力)	12/7(木)	87人 対象児 23人
おはなし会スペシャル〔幼児から低学年〕(吾亦紅)	12/9(土)	66人
乳幼児向けおはなし会(図書館ボランティア)	12/21(木)	人
乳幼児向けおはなし会〔ブックスタート併用日〕 (図書館ボランティア協力)	12/16(土)	18人 対象児 8人
ブックスタートおはなし会(図書館ボランティア協力)	12/16(土)	17人
えいごのおはなし会(レディバグ)	12/23(土)	人
小学生向けお話し会(学校連携)	12/22(金)	人

## 閲覧室内企画展示

テーマ	資料内容・企画意図
クリスマスの本	クリスマスをテーマにした、絵本や読み物など毎年人気の児童書200冊。
いつも犬がいた	かつて野生動物であった犬は、人を助ける家畜として活躍し、今ではペットという言葉さえ使われないほどに家族の一員として、人の心に寄り添っている。平成30年は成年。絵本から物語まで子どもの本に登場する犬の話を集めて展示する。70～80冊
@ライブラリー ウィンタースポーツ	愛知県図書館が県下の図書館によびかける統一企画「アットライブラリー」の一環。12月7日～10日愛知県で開催されるISUグランプリファイナル国際フィギュアスケート大会に合わせフィギュアスケートに関連する本を展示する。また、平昌オリンピックに関連した資料なども展示する。60冊
中学生のおすすめ本	中学生美術展に合わせて、中学生が選んだ本をポップと共に展示する。美術展を訪れる保護者や中学生に本を手にとってもらう機会を作る。160冊
素敵な日本語	普段、自分たちが何気なく使っている言葉「日本語」に着目する。語源や意味、意外と知られていない言葉などについての本。30～40冊

## その他

事業名	日時	備考
第2次長久手市子ども読書活動推進計画 第1回策定委員会	12/19(火)	計画の進捗状況の説明と意見聴取
第2回長久手市中央図書館管理運営検討委員会	12/21(木)〔非公開〕	長久手市中央図書館の管理運営について
中学生美術展	12/7(木)～12/20(水)	市内の中学校の生徒が制作した絵画46点、木製等工芸品13点を2階ギャラリースペースで展示。 長久手中学校1年生が作成した本の紹介文(ポップ)も展示。

## 1月の予定

### おはなし会

事業名	日時
おはなし会〔幼児から低学年〕(吾亦紅)	1/13(土)
乳幼児向けおはなし会(図書館ボランティア)	1/18(木)
乳幼児向けおはなし会〔ブックスタート併用日〕 (図書館ボランティア協力)	1/20(土)
えいごのおはなし会(レディバグ)	1/27(土)

### 閲覧室内 企画展示(12月からの変更分)

テーマ	内容
ゆく年くる年 ふゆのおはなし	年末年始の季節に合わせて、冬・雪・お正月などの題材の絵本を主に展示する。
としょかん 赤提灯	寒い冬に、ほっとあたたまるコーナーを開設。料理レシピ、お店探訪記などの30冊

### その他

事業名	日時・場所	備考
第2次長久手市子ども読書活動推進計画策定のためのワークショップ(1回目)	1/27(土)14:00～ 2階 AVルーム	第2次計画策定に市民の声を取り入れる
平成29年度 図書館講座 「ブックスタート」ってどんなこと?	1/31(水)13:00～14:30 2階 AVルーム	ブックスタート事業のボランティア募集に先立ち「ブックスタート」の意義や活動内容を知るための講座

# 中学生美術展

12月7日(水)～12月20日(火)の期間中、2F ギャラリースペースにて、市内3中学校の生徒による作品59点を展示しました。

芳名録記載数：32名



中学生が夏休みに作成した、自身が読んだおすすめの本のポップ広告も併せて展示しました。

平成29年度 中央図書館 目標管理(事業計画)

課題・問題点	目 標	実施項目	進捗状況	年間スケジュール												備 考																												
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																													
1 児童館の古い本の入れ替えが済んでいない	最大4館を入れ替え	1.現場での除籍本調査・選定(長久手西) 2.新しい本の配置(上郷、長久手西) 3.整備済みの2館へ本の貸出を実施(下山、長久手南)	上郷児童館への団体貸出が完了し、約500冊の圖書を配本整備。  長久手南児童館には、やや高学年向けの本を試験的に配置。  長久手西児童館では、司書による現地状況調査を踏まえ、約750冊を除籍。新しい配架レイアウトに変更。																																									
2 中高生の読者層が少ない	中高生への貸出冊数を前年度比2%(約370冊)増(前年度18,582冊)	1.中央図書館司書と学校連携司書で400冊本を選らぶ。 2.PR目的の展示・告知コーナーを設け、わかりやすい図書リスト等を掲示。 3.図書館HPに、専用ページを設け、毎月更新。	本の調査選定では、第1期分223冊、第2期分200冊、第3期分55冊を選定。  図書展示は、「部活」、「図書館的進路相談室」などのテーマ別や新ラインナップの面出しで展開。  配架数は当初の400冊から1000冊に。																																									
3 不明本の発生がある	年間の不明本冊数を前年度比3割(約90冊)減らす。(前年度310冊)	1.不明化傾向分析に基づく配置換え。 2.本にマーキング	不明化傾向のあった旅行書はカウンター前への特別配置を継続。  不明化傾向のあった特定週刊誌は、館所蔵スタンプの効果を認め、継続。  不明原因の一端である利用者が返すところがわからなくなった本を戻す小型書棚を配置。利用実績あり。																																									
4 延滞本が減らない	30日以上延滞者を3割減らす。(前年同月比)	督促対象延滞日数を30日以上から15日以上へ変更(4月～6月試行)。ハガキを郵送もしくはメールで連絡。	督促対象延滞日数を30日以上から15日以上へ変更し、運用している。  貸出レシートでの返却期限遵守呼びかけを継続。  予約本への督促通知頻度を月1回から週1回に高めた。		<table border="1"> <tr> <td>前年値(対象日数30日以上)</td> <td>449冊</td> <td>394</td> <td>379</td> <td>308</td> <td>356</td> <td>421</td> <td>388</td> <td>338</td> <td>362</td> <td>356</td> <td>317</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>626冊</td> <td>593</td> <td>443</td> <td>532</td> <td>576</td> <td>635</td> <td>608</td> <td>538</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.6%</td> <td>1.6%</td> <td>1.1%</td> <td>1.2%</td> <td>1.3%</td> <td>1.5%</td> <td>1.7%</td> <td>1.2%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	前年値(対象日数30日以上)	449冊	394	379	308	356	421	388	338	362	356	317	252	626冊	593	443	532	576	635	608	538						1.6%	1.6%	1.1%	1.2%	1.3%	1.5%	1.7%	1.2%					
前年値(対象日数30日以上)	449冊	394	379	308	356	421	388	338	362	356	317	252																																
626冊	593	443	532	576	635	608	538																																					
1.6%	1.6%	1.1%	1.2%	1.3%	1.5%	1.7%	1.2%																																					